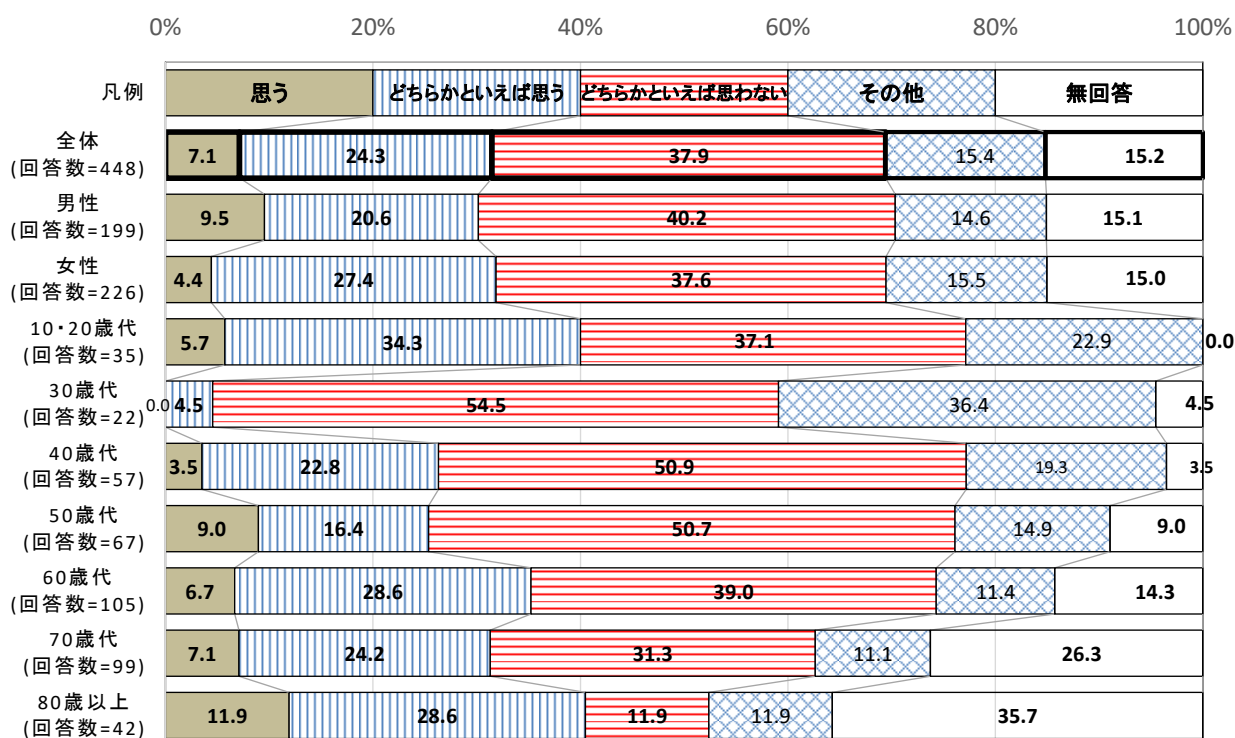
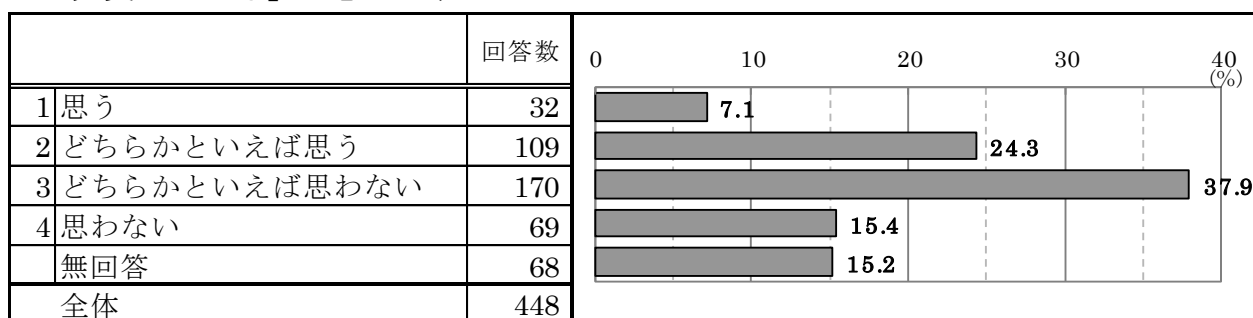


4. 「子育て・教育」「福祉」に関して

問 12 子育て環境の充実度 あなたは、西成区は「安心して子育てができる環境が充実している」と思いますか？



安心して子育てができる環境が充実していることについては、「どちらかといえば思わない」が37.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば思う」が24.3となっている。

「思う」(7.1%)と「どちらかといえば思う」(24.3%)を合わせて“安心して子育てができる環境が充実していると思う”人は31.4%となっている。また、「思わない」(15.4%)と「どちらかといえば思わない」(37.9%)を合わせて“安心して子育てができる環境が充実していると思わない”人は53.3%となっている。

男女別にみると、“安心して子育てができる環境が充実していると思う”のは、『男性』が30.1%、『女性』が31.8%となっており、“安心して子育てができる環境が充実していると思わない”のは、『男性』が54.8%、『女性』が53.1%となっている。

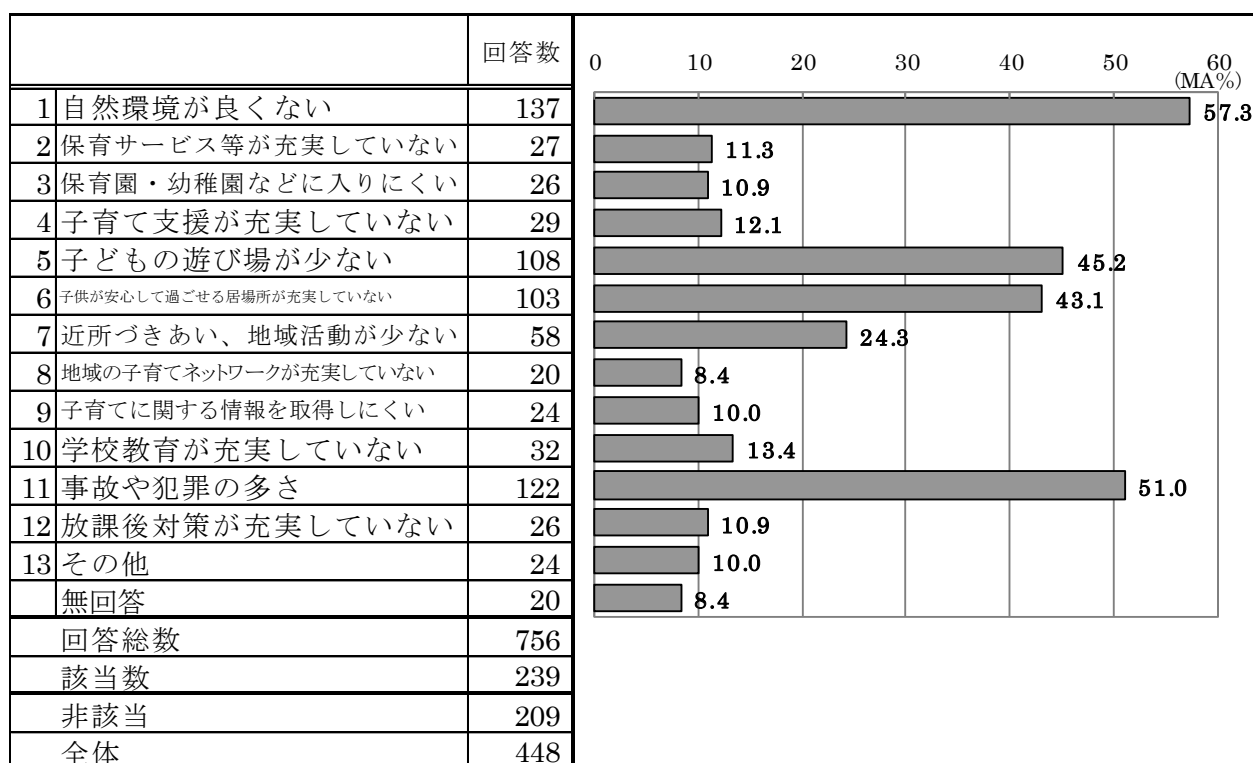
問 12-1 「思う」理由 (問 12 で「思う」「どちらかといえば思う」と回答の方のみ) その理由は次のうちどれですか?【複数回答】

	回答数	0	10	20	30	40
1 自然環境が良い	19					
2 保育サービス等が充実している	14					
3 保育園・幼稚園などに入園しやすい	45					
4 子育て支援が充実している	19					
5 子どもの遊び場が充実している	14					
6 子供が安心して過ごせる居場所が充実している	7					
7 近所づきあい、地域活動が盛ん	49					
8 地域の子育てネットワークができています	14					
9 子育てに関する情報が得やすい	16					
10 学校教育が充実している	15					
11 事故や犯罪数が少なく安全	18					
12 放課後対策が充実している	21					
13 その他	11					
無回答	13					
回答総数	275					
該当数	141					
非該当	307					
全体	448					

※「その他」の内容：わからない (7)、子どもがいないから (2)、自分が育った町だから (2)、特に不満がない (2)

“安心して子育てができる環境が充実していると思う” 人の理由 (複数回答) は、「近所づきあい、地域活動が盛ん」が 34.8%と最も多く、次いで「保育園・幼稚園などに入園しやすい」が 31.9%、「放課後対策が充実している」が 14.9%となっている。

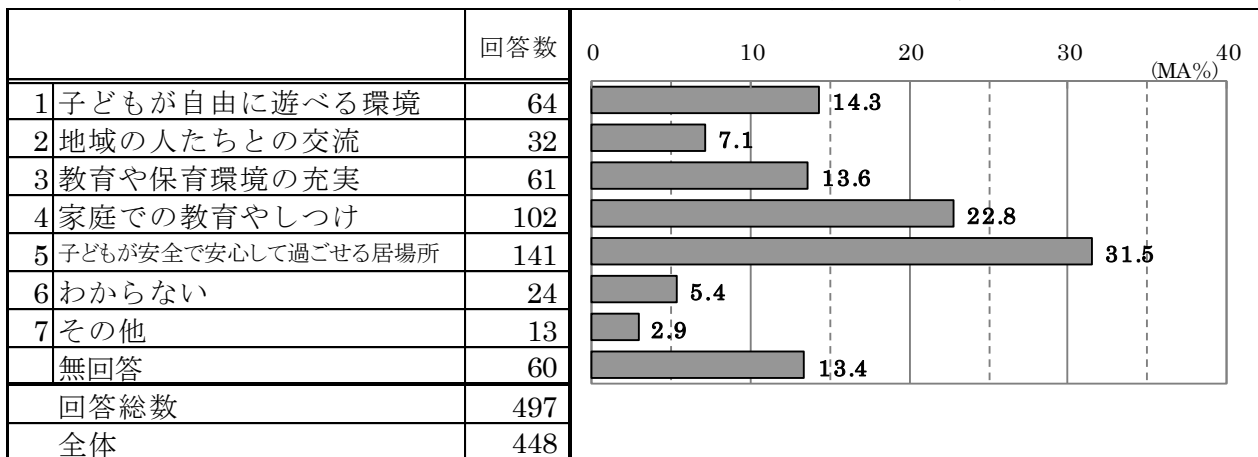
問 12-2 「思わない」理由 (問 12 で「どちらかといえば思わない」「思わない」と回答の方のみ) その理由は次のうちどれですか?【複数回答】



※「その他」の内容：子どもがいない(5)、不審者が多い(4)、まちが汚い

“安心して子育てができる環境が充実していると思わない”人の理由(複数回答)は、「自然環境が良くない」が 57.3%と最も多く、次いで「事故や犯罪の多さ」が 51.0%、「子どもの遊び場が少ない」が 45.2%となっている。

問 13 健全な育成に必要なこと あなたは、子どもたちを健やかに育てるために最も必要なことは次のうちどれだと思いますか？【単数回答⇒複数回答】



※単数回答：1=47、2=22、3=49、4=87、5=120、6=24、7=12

※複数回答：1・2・3・4・5=3、1・3・4・5=1、1・3・5=2、1・4=3、1・4・5=1、1・5=7、
2・3・4・5=1、2・3・4・5・7=1、2・3・5=1、2・4=2、2・4・5=1、2・5=1、
3・4・5=1、3・5=1

※「その他」の内容：経済力、親の資質、お金、学力主義をやめること

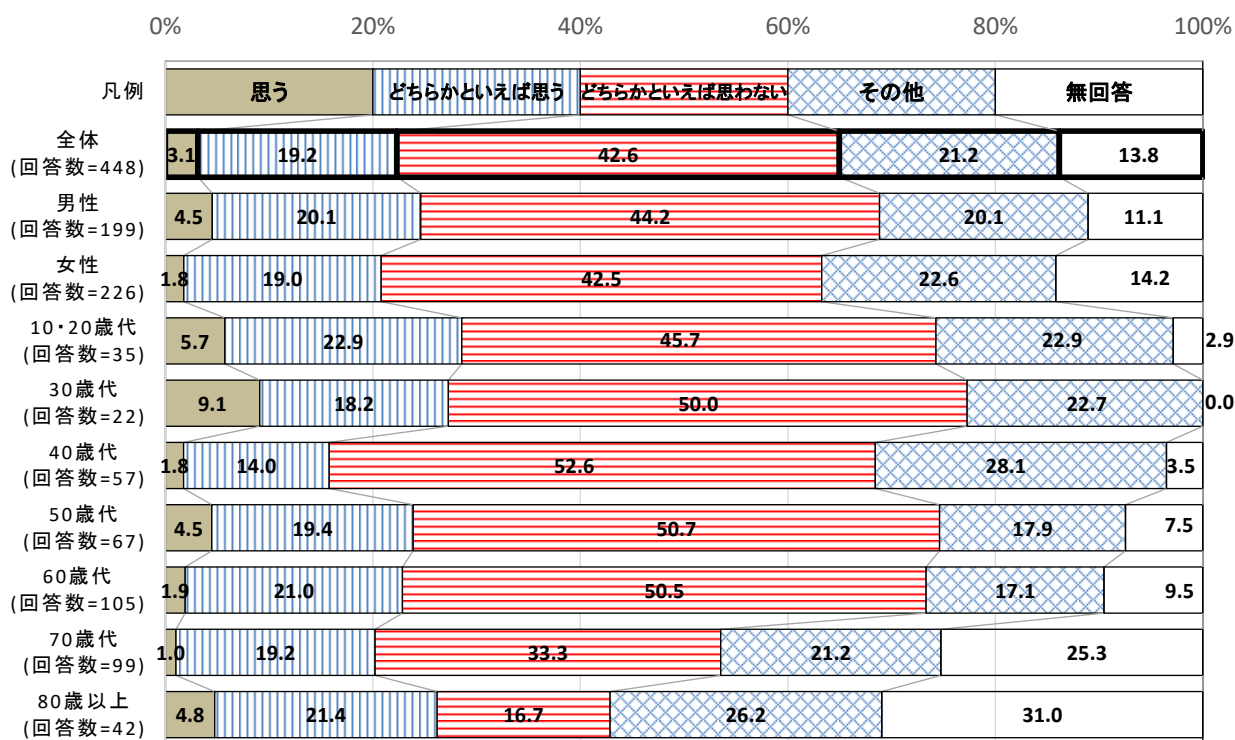
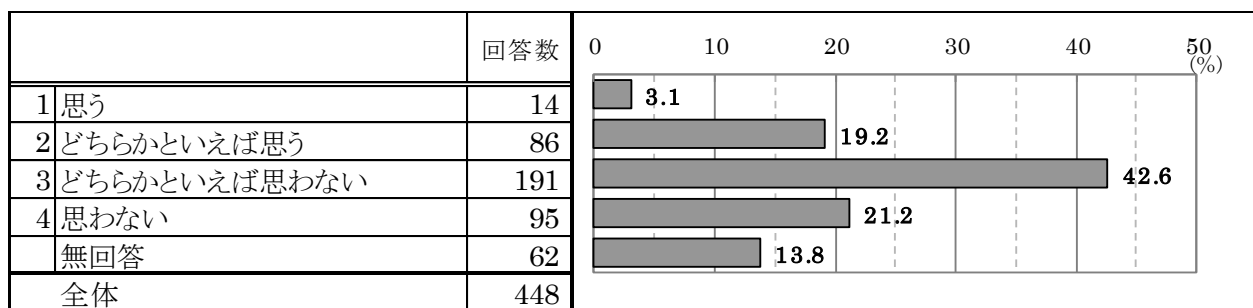
子どもたちを健やかに育てるために必要なこと（複数回答）は、「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」が31.5%と最も多く、次いで「家庭での教育やしつけ」が22.8%、「子どもが自由に遊べる環境」が14.3%となっている。

【男女・年代別 健全育成に必要なこと（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 【回答数=448】	安全で安心して 過ごせる居場所 31.5%	家庭での教育 やしつけ 22.8%	子どもが自由に 遊べる環境 14.3%	教育や保育環 境の充実 13.6%	地域の人たち との交流 7.1%
男性 【回答数=199】	安全で安心して 過ごせる居場所 26.6%	家庭での教育 やしつけ 22.6%	教育や保育環 境の充実 16.6%	子どもが自由に 遊べる環境 14.1%	わからない 6.5%
女性 【回答数=226】	安全で安心して 過ごせる居場所 35.8%	家庭での教育 やしつけ 23.9%	子どもが自由に 遊べる環境 14.6%	教育や保育環 境の充実 11.1%	地域の人たち との交流 8.4%
10～20歳代 【回答数=35】	安全で安心して 過ごせる居場所 42.9%	家庭での教育 やしつけ 22.9%	子どもが自由に遊べる環境／地域 の人たちとの交流 11.4%	教育や保育環 境の充実 8.6%	
30歳代 【回答数=22】	安全で安心して 過ごせる居場所 50.0%	教育や保育環 境の充実 18.2%	地域の人たちとの交流／ 家庭での教育やしつけ／ その他 9.1%		
40歳代 【回答数=57】	安全で安心して 過ごせる居場所 35.1%	家庭での教育 やしつけ 24.6%	教育や保育環 境の充実 22.8%	子どもが自由 に遊べる環境 19.3%	わからない 7.0%
50歳代 【回答数=67】	安全で安心して 過ごせる居場所 37.3%	家庭での教育 やしつけ 23.9%	教育や保育環 境の充実 14.9%	子どもが自由 に遊べる環境 10.4%	地域の人たちと の交流 6.0%
60歳代 【回答数=105】	安全で安心して 過ごせる居場所 30.5%	子どもが自由に 遊べる環境 19.0%	教育や保育環 境の充実／家庭で の教育やしつけ 18.1%	地域の人たち との交流 10.5%	
70歳代 【回答数=99】	家庭での教育 やしつけ 28.3%	安全で安心し て過ごせる居 場所 26.3%	子どもが自由 に遊べる環境 11.9%	教育や保育環 境の充実 6.1%	わからない 5.1%
80歳以上 【回答数=42】	家庭での教育 やしつけ 28.6%	子どもが自由に遊べる環境／ 安全で安心して過ごせる居場所 11.9%	地域の人達との交流／ 教育や保育環境の充実 7.1%		

男女別にみると、男女とも「子どもが安全で安心して過ごせる居場所」が第1位であり、次いで「家庭での教育やしつけ」となっている。

問 14 子どもの遊び場の確保状況 あなたは、地域の子どもの遊び場が十分に確保されていると思いますか？

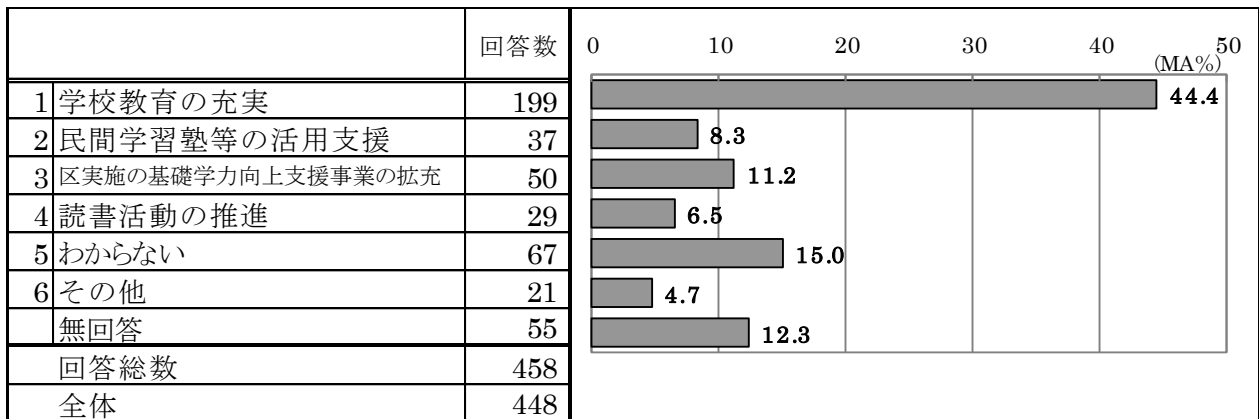


地域の子どもの遊び場が十分に確保されていることについては、「どちらかといえば思わない」が42.6%と最も多く、次いで「思わない」が21.2%となっており、合わせて“地域の子どもの遊び場が十分に確保されているとは思わない”人が63.8%となっている。

また、「思う」(3.1%)と「どちらかといえば思う」(19.2%)を合わせた“地域の子どもの遊び場が十分に確保されていると思う”人は22.3%となっている。

男女別にみると、“地域の子どもの遊び場が十分に確保されていると思う”のは、『男性』が24.6%、『女性』が20.8%となっている。

問 15 小中学校の基礎学力の向上策 あなたは、区内小・中学生の基礎学力を向上させるために、どのような施策が必要だと思いますか？【単数回答⇒複数回答】



※単数回答：1=194、2=34、3=44、4=24、5=66、6=21

※複数回答：1・3=1、1・4=4、2・3=3、3・4=1、3・5=1

※「その他」の内容：家庭でのしつけ (4)、親の教育 (3)、家庭学習のすすめ (3)、いろんなものへの関心

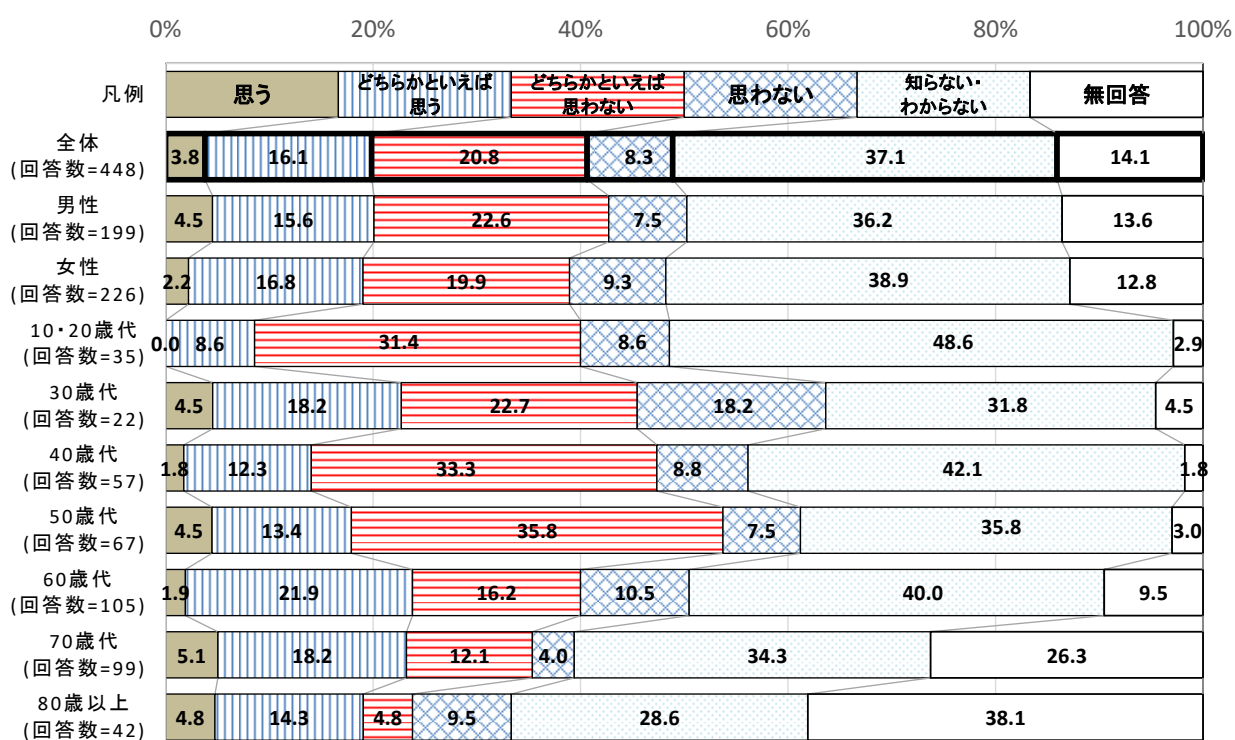
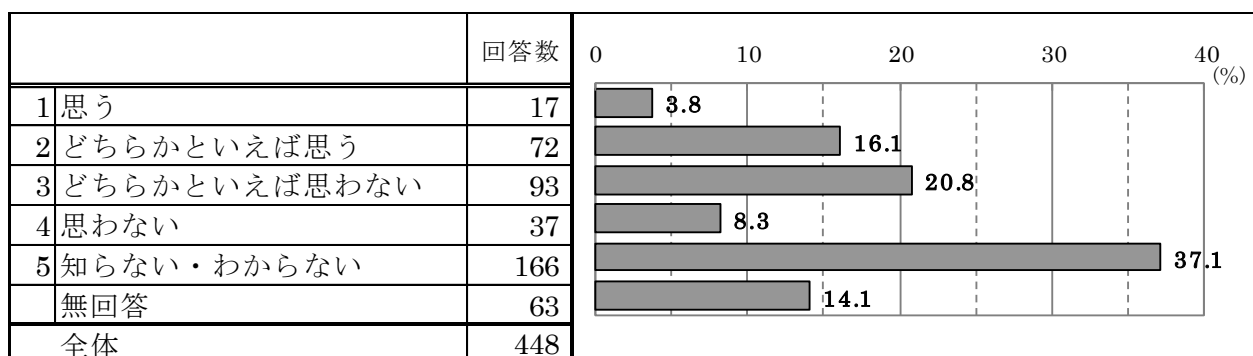
区内の小中学校の基礎学力を向上させるための施策（複数回答）は、「学校教育の充実」が44.4%と最も多く、次いで「わからない」が15.0%となっている。

【男女・年代別 小中学校の基礎学力の向上策（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 【回答数=448】	学校教育の充実 44.4%	わからない 15.0%	基礎学力向上支援事業 11.2%	学習塾等の活用支援 8.3%	読書活動の推進 6.5%
男性 【回答数=199】	学校教育の充実 45.7%	わからない 16.1%	学習塾等の活用支援／ 基礎学力向上支援事業 10.1%		読書活動の推進／その他 4.0%
女性 【回答数=226】	学校教育の充実 45.6%	わからない 14.2%	基礎学力向上支援事業 12.8%	読書活動の推進 8.8%	学習塾等の活用支援 6.2%
10～20歳代 【回答数=35】	学校教育の充実 54.3%	読書活動の推進 17.1%	わからない／ その他 8.6%	学習塾等の活用支援／ 基礎学力向上支援事業 5.7%	
30歳代 【回答数=22】	学校教育の充実 54.5%	学習塾等の活用支援 18.2%	基礎学力向上支援事業／ 読書活動の推進／わからない 9.1%		
40歳代 【回答数=57】	学校教育の充実 63.2%	わからない 15.8%	基礎学力向上支援 8.8%	学習塾等の活用支援 5.3%	読書活動の推進 3.5%
50歳代 【回答数=67】	学校教育の充実 46.3%	基礎学力向上支援事業／ わからない 14.9%		学習塾等の活用支援 13.4%	読書活動の推進／その他 4.5%
60歳代 【回答数=105】	学校教育の充実 39.0%	基礎学力向上支援事業／ わからない 15.2%		読書活動の推進 10.5%	その他 5.7%
70歳代 【回答数=99】	学校教育の充実 41.4%	わからない 18.2%	基礎学力向上支援事業 11.1%	学習塾等の活用 8.1%	その他 4.0%
80歳以上 【回答数=42】	学校教育の充実 32.6%	わからない 14.3%	民間学習塾等の活用支援／ 基礎学力向上支援事業 7.1%		その他 4.8%

男女別にみると、男女とも第1位は「学校教育の充実」であり、第2位は「わからない」となっている。

問 16 子育てに関する区役所情報の提供状況 あなたは子ども・子育てに関する区役所からの広報や情報発信が十分にされていると思いますか？

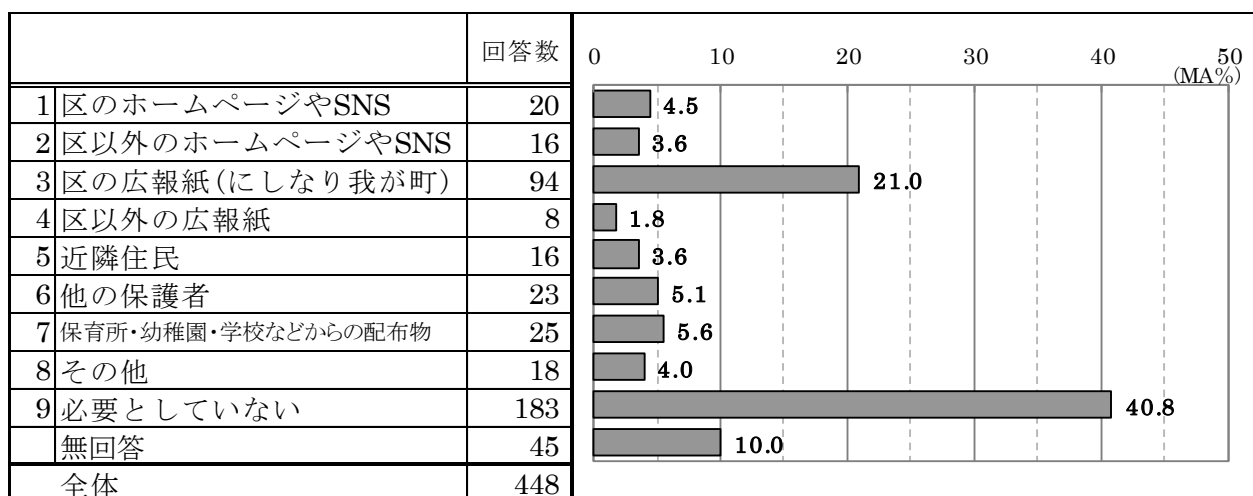


子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされていることについては、「知らない・わからない」が 37.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば思わない」が 20.8%、「どちらかといえば思う」が 16.1%となっている。

「思う」(3.8%)と「どちらかといえば思う」(16.1%)を合わせた“子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされていると思う”人は 19.9%となっている。また、「どちらかといえば思わない」(20.8%)と「思わない」(8.3%)を合わせた“子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされているとは思わない”人は 29.1%となっている。

男女別にみると、“子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされていると思う”のは、『男性』が 20.1%、『女性』が 19.0%となっており、“子ども・子育てに関する広報や情報発信が十分にされているとは思わない”のは、『男性』が 30.1%、『女性』が 29.2%となっている。

問 17 子育て情報の入手先 あなたは子ども・子育てに関する情報をどこから入手することが多いですか？



子ども・子育てに関する情報の入手先は、「必要としていない」が40.8%と最も多く、次いで「区の広報紙(にしなり我が町)」が21.0%となっている。

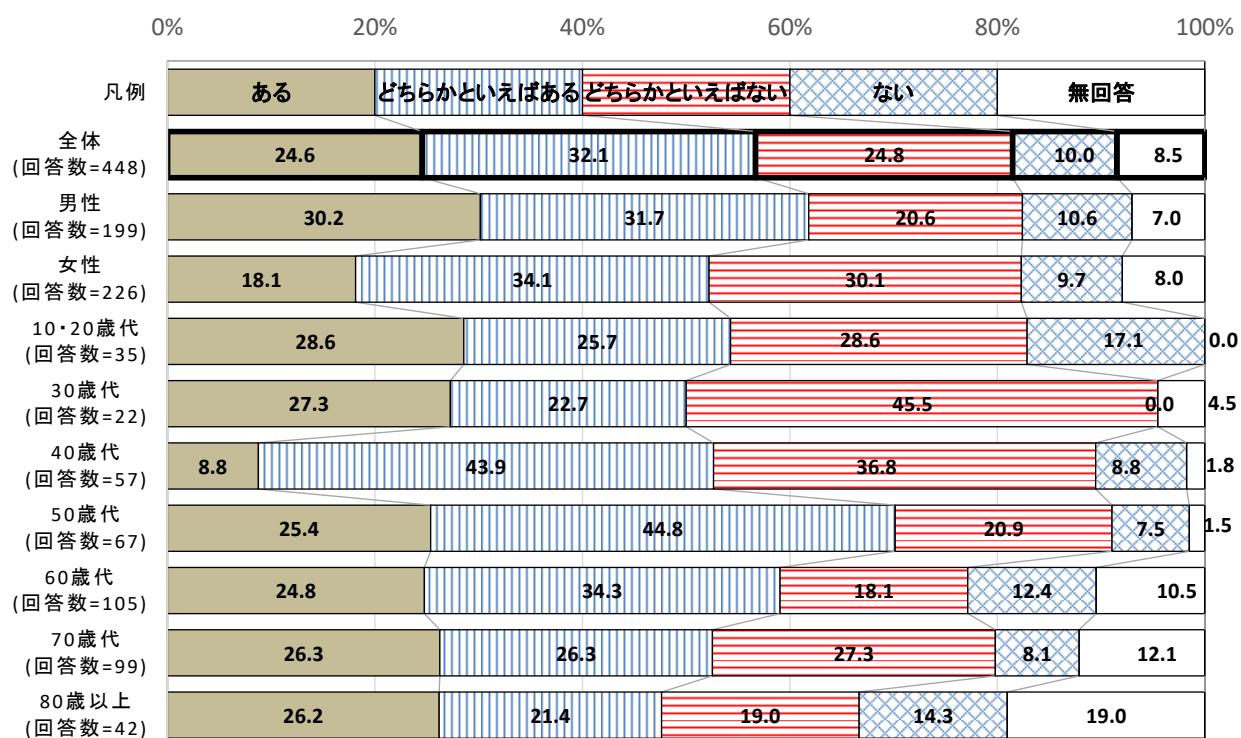
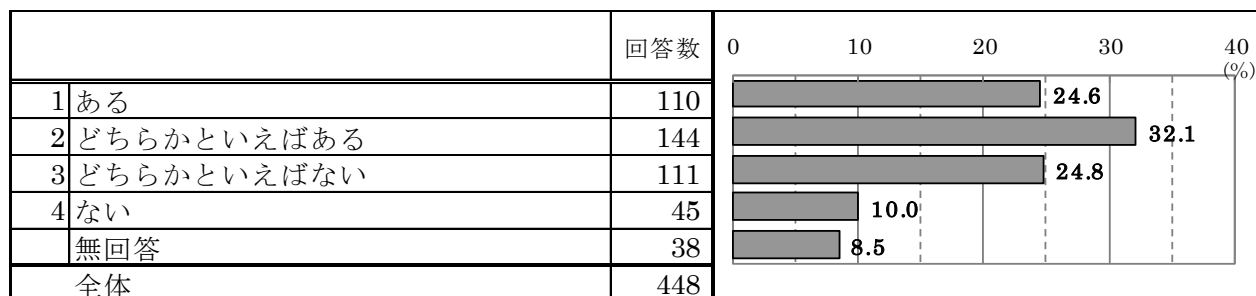
【男女・年代別 子育て情報の入手先(上位5位)】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 【回答数=448】	必要としていない 40.8%	区の広報紙 21.0%	保育所等からの配布物 5.6%	他の保護者 5.1%	区のホームページ等 4.5%
男性 【回答数=199】	必要としていない 40.7%	区の広報紙 21.6%	区のホームページ等 6.5%	他の保護者/ その他	4.5%
女性 【回答数=226】	必要としていない 40.7%	区の広報紙 20.8%	保育所等からの配布物 7.5%	他の保護者 5.8%	区以外のホームページ等/ 近隣住民/ その他 3.5%
10～20歳代 【回答数=35】	必要としていない 48.6%	区の広報紙/ 他の保護者	11.4%	区以外のホームページ等 8.6%	区以外の広報紙/ 近隣住民/ 保育所等からの配布物 3.5%
30歳代 【回答数=22】	必要としていない 27.3%	区以外のホームページ等 22.7%	区の広報紙/ 保育所等からの配布物 13.6%	13.6%	区のホームページ等 9.1%
40歳代 【回答数=57】	必要としていない 38.6%	保育所等からの配布物 19.3%	区の広報紙 12.3%	他の保護者 10.5%	区のホームページ等 8.8%
50歳代 【回答数=67】	必要としていない 43.3%	区の広報紙 19.4%	近隣住民/ その他	9.0%	区以外のホームページ等/ 保育所等からの配 6.0%
60歳代 【回答数=105】	必要としていない 37.1%	区の広報紙 29.5%	他の保護者 7.6%	区のホームページ等 5.7%	その他 4.8%
70歳代 【回答数=99】	必要としていない 42.4%	区の広報紙 28.3%	他の保護者 3.0%	近隣住民/ その他	2.0%
80歳以上 【回答数=42】	必要としていない 45.2%	区の広報紙 11.9%	区のホームページ等 7.1%	保育所等からの配布物 4.8%	区以外の広報紙/ 近隣住民/ その他 2.4%

男女別にみると、男女とも「必要としていない」が最も多く、第2位は「区の広報紙(にしなり我が町)」となっている。

5. 「人権・生涯学習」に関して

問 18 人権に関する関心度 あなたは、人権について関心がありますか？



人権についての関心度は、「どちらかといえばある」が 32.1%と最も多く、次いで「どちらかといえはない」が 24.8%となっている。「ある」の 24.6%と合わせて“人権について関心がある”人は、56.7%となっている。

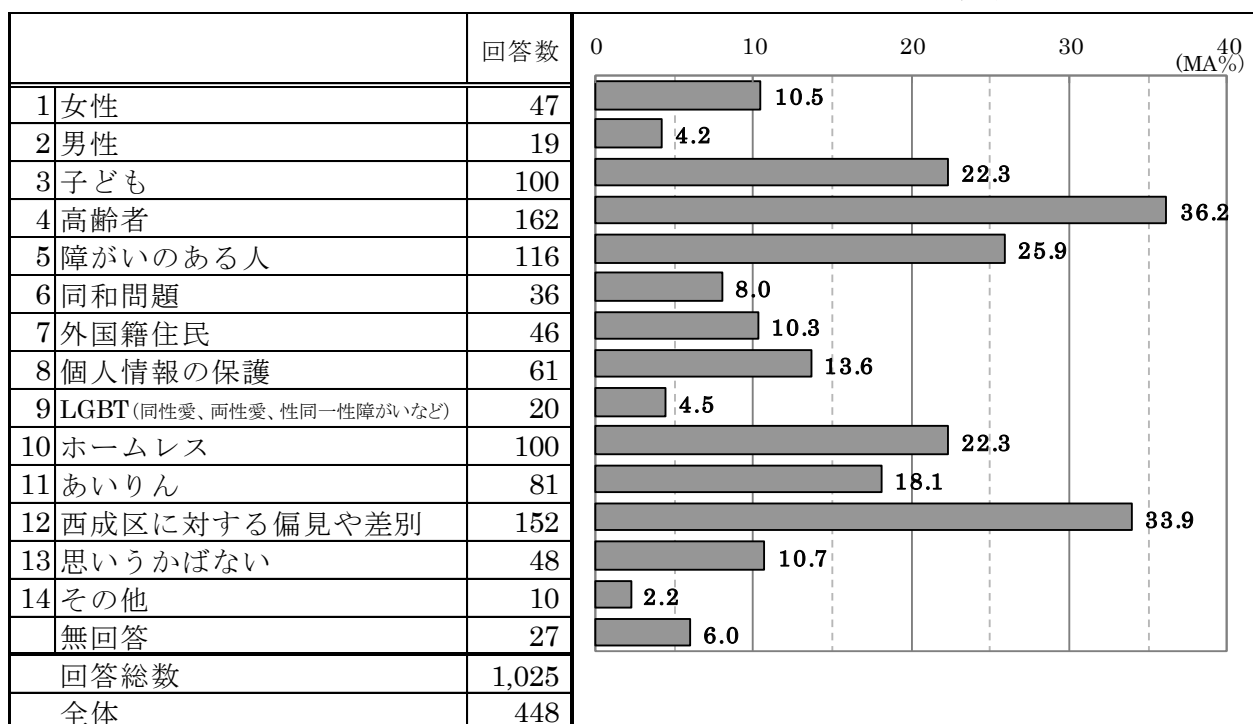
男女別にみると、“人権について関心がある”のは『男性』が 61.9%、『女性』が 52.2%となっている。

問 18 - 1 人権に関する関心度 (問 18 で「ある」「どちらかといえばある」と回答の方のみ) 人権意識についてお聞きします。あなたの意識は、昨年に比べて高まったと思いますか？

	回答数	0	10	20	30	40	50 (%)	
1 思う	72						28.3	
2 どちらかといえば思う	109						42.9	
3 どちらかといえば思わない	44						17.3	
4 思わない	23						9.1	
無回答	6						2.4	
回答総数	254							
該当数	254							
非該当	194							
全体	448							

人権意識について、昨年より意識が高まったと「どちらかといえば思う」が 42.9%と最も多く、次いで「思う」が 28.3%であり、合わせて“人権について意識が高まったと思う”人は、71.2%となっている。

問 19 人権啓発事業で力を入れるべきテーマ あなたが、区の人権啓発事業で、特に力を入れるべきだと思うテーマは次のうちどれですか？【複数回答】



※「その他」の内容：貧困問題（2）、ホームレス

区の人権啓発事業で特に力を入れるべきテーマ（複数回答）は、「高齢者」が 36.2%と最も多く、次いで「西成区に対する偏見や差別」が 33.9%、「障がいのある人」が 25.9%となっている。

【男女・年代別 人権啓発事業で力を入れるべきテーマ（上位5位）】

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 【回答数=448】	高齢者 36.2%	西成区に対する 偏見や差別 33.9%	障がいのある人 25.9%	子ども／ホームレス 22.3%	
男性 【回答数=199】	高齢者 36.7%	西成区に対する 偏見や差別 32.7%	障がいのある人 27.6%	ホームレス 23.1%	子ども 19.6%
女性 【回答数=226】	西成区に対する 偏見や差別 36.3%	高齢者 34.1%	障がいのある人 24.8%	子ども 24.3%	ホームレス 20.4%
10～20歳代 【回答数=35】	子ども／ 西成区に対する偏見や差別 34.3%		ホームレス 31.4%	女性／高齢者／障がいのある人 ／個人情報の保護／あいりん 22.9%	
30歳代 【回答数=22】	子ども 45.5%	障がいのある人／ 西成区に対する偏見や差別 40.9%		高齢者 27.3%	ホームレス 18.2%
40歳代 【回答数=57】	西成区に対する 偏見や差別 36.8%	障がいのある 人 29.8%	ホームレス 26.3%	あいりん 24.6%	高齢者 22.8%
50歳代 【回答数=67】	高齢者 43.3%	障がいのある人／ 西成区に対する偏見や差別 41.8%		子ども 29.9%	ホームレス／ あいりん 20.9%
60歳代 【回答数=105】	高齢者／ 西成区に対する偏見や差別 33.3%		障がいのある人 28.6%	ホームレス 25.7%	子ども 21.0%
70歳代 【回答数=99】	西成区に対する 偏見や差別 16.2%	高齢者 14.1%	あいりん 11.1%	ホームレス 10.1%	障がいのある 人 4.0%
80歳以上 【回答数=42】	西成区に対する 偏見や差別 38.1%	高齢者 33.3%	あいりん 26.2%	ホームレス 23.8%	障がいのある人 9.5%

男女別にみると、『男性』は第1位が「高齢者」であり、『女性』は「西成区に対する偏見や差別」となっている。第2位は『男性』が「西成区に対する偏見や差別」、『女性』が「高齢者」となっている。

問 20 知っている生涯学習事業 小学校や中学校を拠点として実施している生涯学習事業で、あなたが知っているものはありますか？【複数回答】

	回答数	0	10	20	30	40	50	60
1 生涯学習ルーム事業	126							
2 はぐくみネット事業	45	10.0						
3 学校体育施設開放事業	67	15.0						
4 いずれも知らない	247	55.1						
無回答	47	10.5						
回答総数	532							
全体	448							

知っている生涯学習事業（複数回答）は、「いずれも知らない」が 55.1%と最も多く、次いで「生涯学習ルーム事業」が 28.1%、「学校体育施設開放事業」が 15.0%となっている。

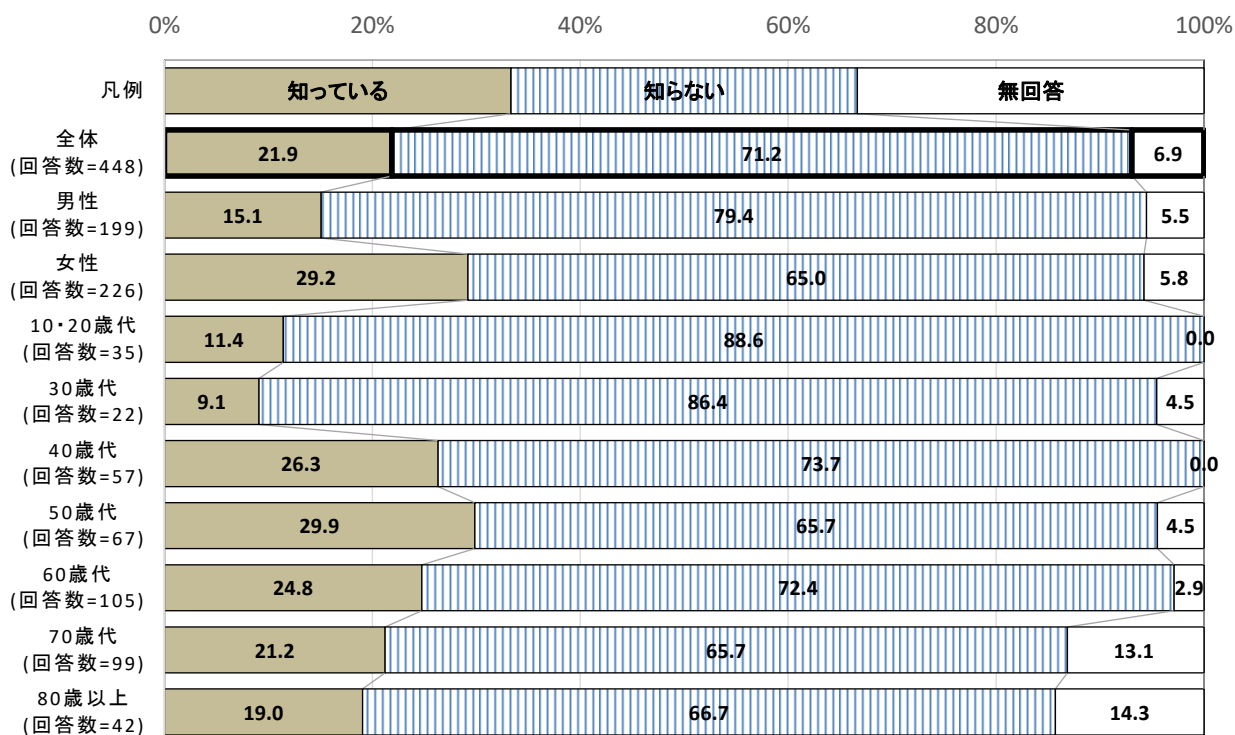
【男女・年代別 知っている生涯学習事業】

	第1位	第2位	第3位	第4位	無回答
全体 【回答数=448】	いずれも知らない 55.1%	生涯学習ルーム事業 28.1%	学校体育施設開放事業 15.0%	はぐくみネット事業 10.0%	無回答 10.5%
男性 【回答数=199】	いずれも知らない 65.8%	生涯学習ルーム事業 17.6%	学校体育施設開放事業 15.1%	はぐくみネット事業 6.0%	無回答 10.1%
女性 【回答数=226】	いずれも知らない 46.5%	生涯学習ルーム事業 38.1%	学校体育施設開放事業 15.5%	はぐくみネット事業 13.7%	無回答 8.8%
10～20 歳代 【回答数=35】	いずれも知らない 77.1%	はぐくみネット事業 11.4%	生涯学習ルーム事業／ 学校体育施設開放事業 5.7%		無回答 2.9%
30 歳代 【回答数=22】	いずれも知らない 50.0%	生涯学習ルーム事業 27.3%	はぐくみネット事業 18.2%	学校体育施設開放事業 13.6%	無回答 4.5%
40 歳代 【回答数=57】	いずれも知らない 63.2%	生涯学習ルーム事業 28.1%	はぐくみネット事業 17.5%	学校体育施設開放事業 8.8%	無回答 3.5%
50 歳代 【回答数=67】	いずれも知らない 56.7%	生涯学習ルーム事業 38.8%	学校体育施設開放事業 26.9%	はぐくみネット事業 11.9%	無回答 1.5%
60 歳代 【回答数=105】	いずれも知らない 53.3%	生涯学習ルーム事業 31.4%	学校体育施設開放事業 16.2%	はぐくみネット事業 6.7%	無回答 11.4%
70 歳代 【回答数=99】	いずれも知らない 48.5%	生涯学習ルーム事業 28.3%	学校体育施設開放事業 15.2%	はぐくみネット事業 9.1%	無回答 14.1%
80 歳以上 【回答数=42】	いずれも知らない 50.0%	生涯学習ルーム事業 23.8%	学校体育施設開放事業 11.9%	はぐくみネット事業 2.4%	無回答 23.8%

男女別にみると、男女とも第1位が「いずれも知らない」であり、第2位が「生涯学習ルーム事業」、第3位が「学校体育施設開放事業」となっている。

問 21 西成区生涯学習フェスティバルの開催の認知度 あなたは、西成区内の生涯学習ルームおよび関連施設が、活動成果を一堂に展示・発表する「西成区生涯学習フェスティバル」が開催されているのを知っていますか？

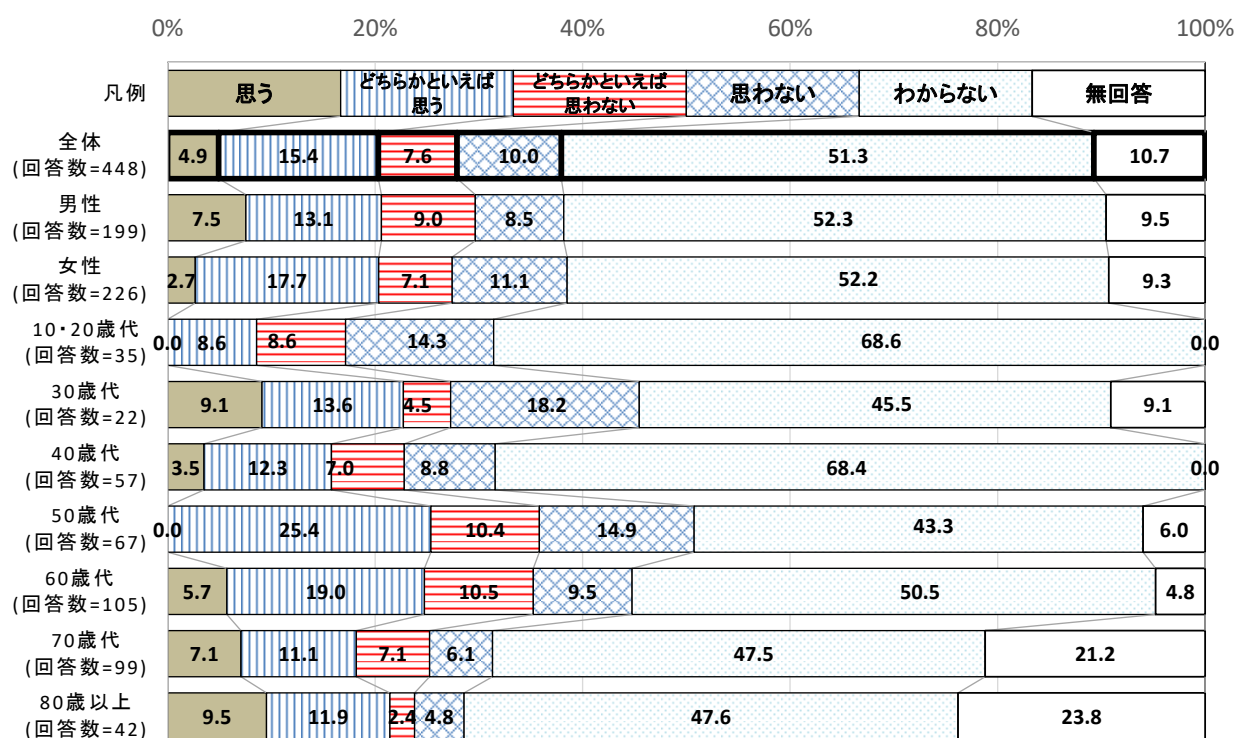
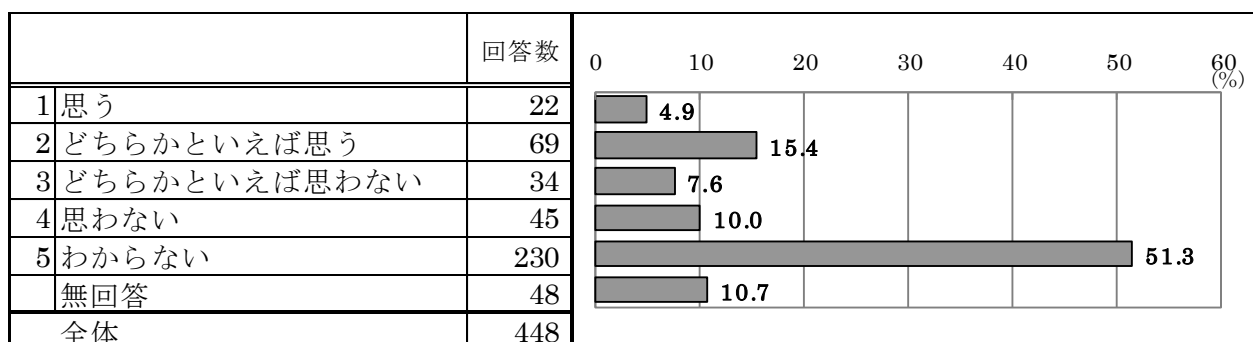
	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	(%)
1 知っている	98	[Bar chart showing 21.9%]									
2 知らない	319	[Bar chart showing 71.2%]									
無回答	31	[Bar chart showing 6.9%]									
全体	448										



西成区生涯学習フェスティバルの開催の認知度は、「知っている」が21.9%、「知らない」が71.2%となっている。

男女別にみると、「知っている」は『男性』が15.1%、『女性』が29.2%であり、「知らない」は、『男性』が79.4%、『女性』が65.0%となっている。

問 22 生涯学習活動による地域のつながりの深化の感想 西成区では、問 23 や問 24 のような地域の生涯学習に関わる活動を、地域のつながりづくりに役立つものとして支援しています。あなたは、その活動により、つながりが深まったり、広がったりしていると思いますか？



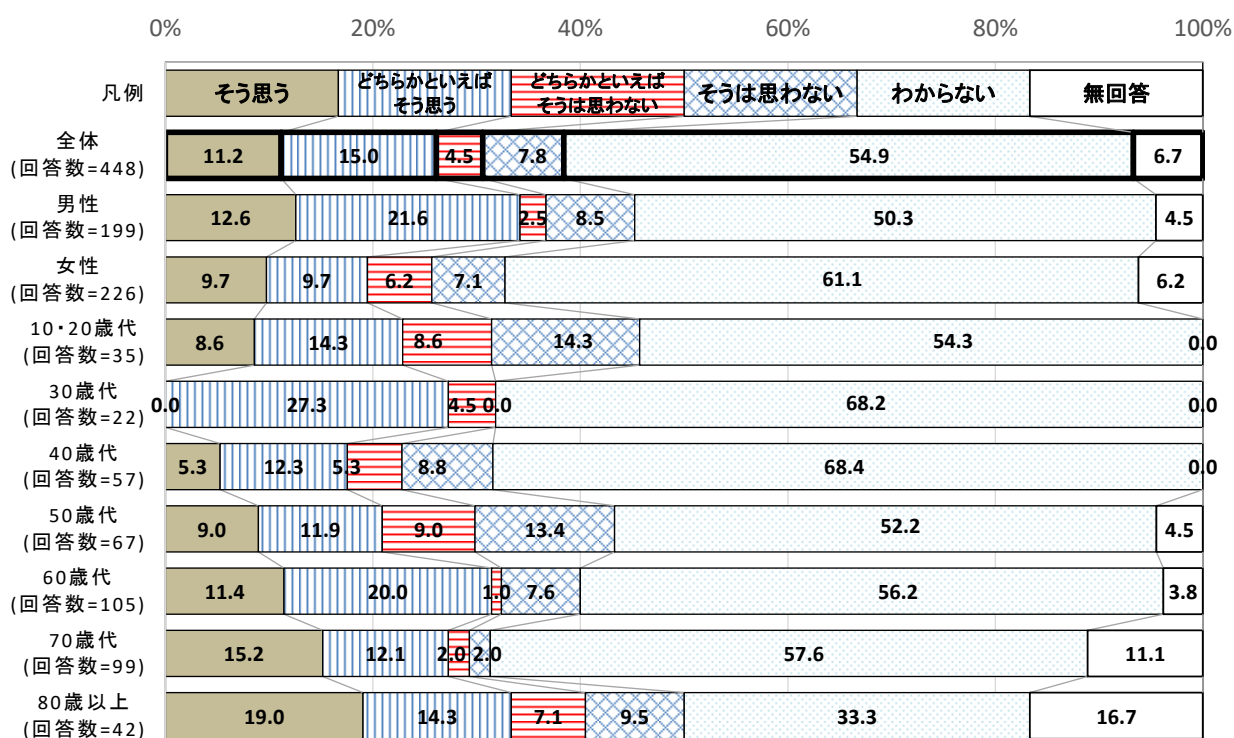
地域の生涯学習に関わる活動が地域のつながりが深まったり、広がったりしていることについては、「わからない」が51.3%であり、「どちらかといえば思う」が15.4%となっている。「思う」(4.9%)と「どちらかといえば思う」(15.4%)を合わせた“地域のつながりが深まったり、広まったりしていると思っている”人は、20.3%となっている。

男女別にみると、“地域のつながりが以前に比べて深まったと思っている”人は、『男性』が20.6%、『女性』が20.4%となっている。

6. 「防犯・防災」に関して

問 23 今宮中学校周辺の通学環境改善の感覚 あなたは、いまみや小中一貫校周辺の安全に関する環境が、開校前の平成 26 年以前と比べ良くなったと思いますか？

	回答数	0	10	20	30	40	50	60 (%)
1 そう思う	50	11.2						
2 どちらかといえばそう思う	67	15.0						
3 どちらかといえばそうは思わない	20	4.5						
4 そうは思わない	35	7.8						
5 わからない	246	54.9						
無回答	30	6.7						
全体	448							

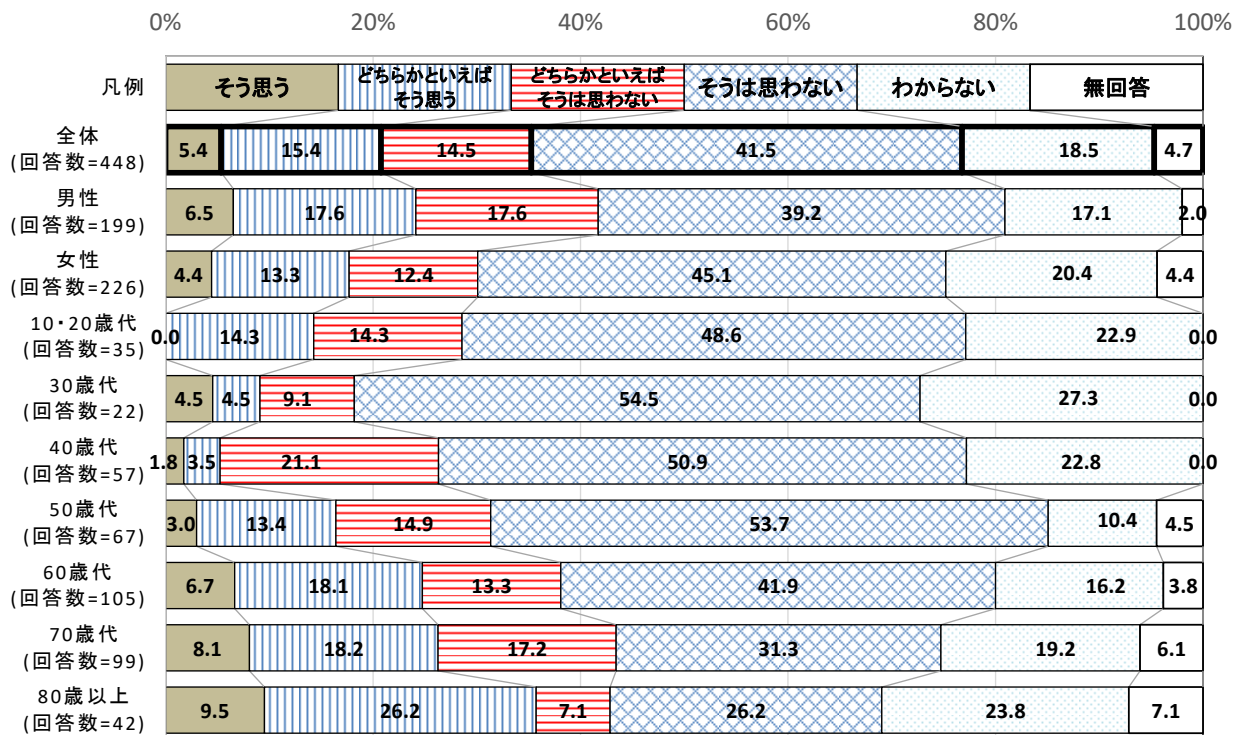


今宮中学校周辺の通学環境が以前と比べて良くなったとの思いは、「わからない」が 54.9%、「どちらかといえばそう思う」が 15.0%、「そう思う」が 11.2%となっている。「そう思う」(11.2%)と「どちらかといえばそう思う」(15.0%)を合わせた“今宮中学校周辺の通学環境が以前と比べて改善したと思っている”人は 26.2%となっている。

男女別にみると、“今宮中学校周辺の通学環境が以前と比べて改善したと思っている”人は、『男性』が 34.2%、『女性』が 19.4%となっている。

問 24 交通ルール・マナーに関する区民意識 あなたは、交通ルール・マナーに関する区民の意識が向上してきたと思いますか？

	回答数	0	10	20	30	40	50 (%)
1 と思う	24	5.4					
2 どちらかといえば思う	69	15.4					
3 どちらかといえばそうは思わない	65	14.5					
4 そうは思わない	186	41.5					
5 わからない	83	18.5					
無回答	21	4.7					
全体	448						

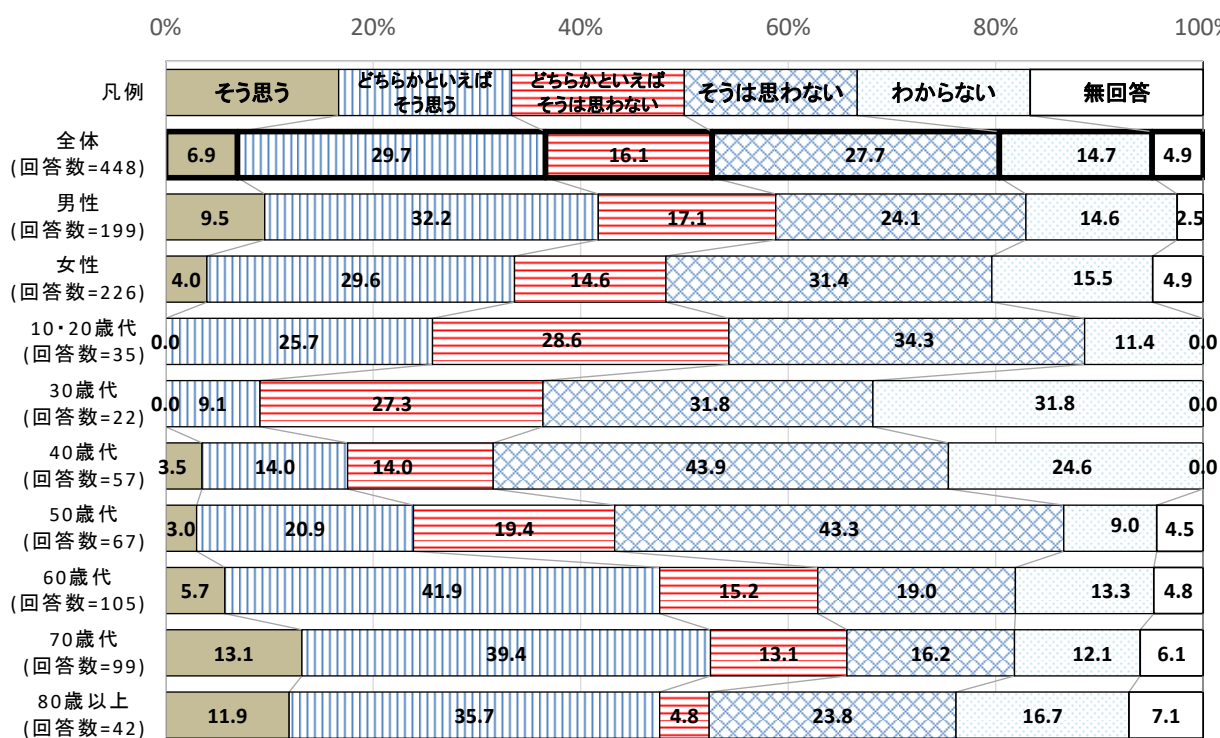
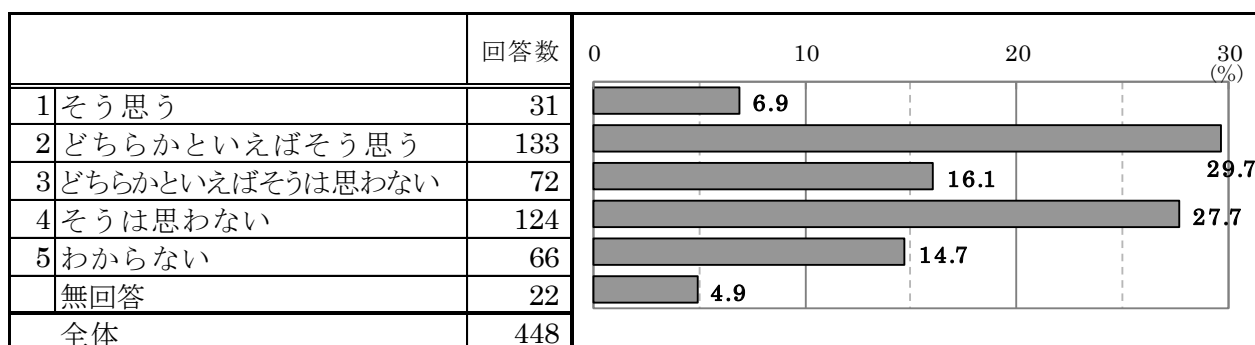


交通ルール・マナーに関する区民の意識が向上してきたことについては、「そうは思わない」が41.5%、「どちらかといえばそうは思わない」が14.5%、「どちらかといえば思う」が15.4%となっている。

「と思う」(5.4%)と「どちらかといえば思う」(15.4%)を合わせた“交通ルール・マナーに関する区民の意識が向上してきたと思っている”人は20.8%となっている。

男女別にみると、“交通ルール・マナーに関する区民の意識が向上してきたと思っている”人は、『男性』が24.1%、『女性』が17.7%となっている。

問 25 安心安全なまちとしての変化 あなたは、西成区が安心安全なまちに変わってきたと思いますか？

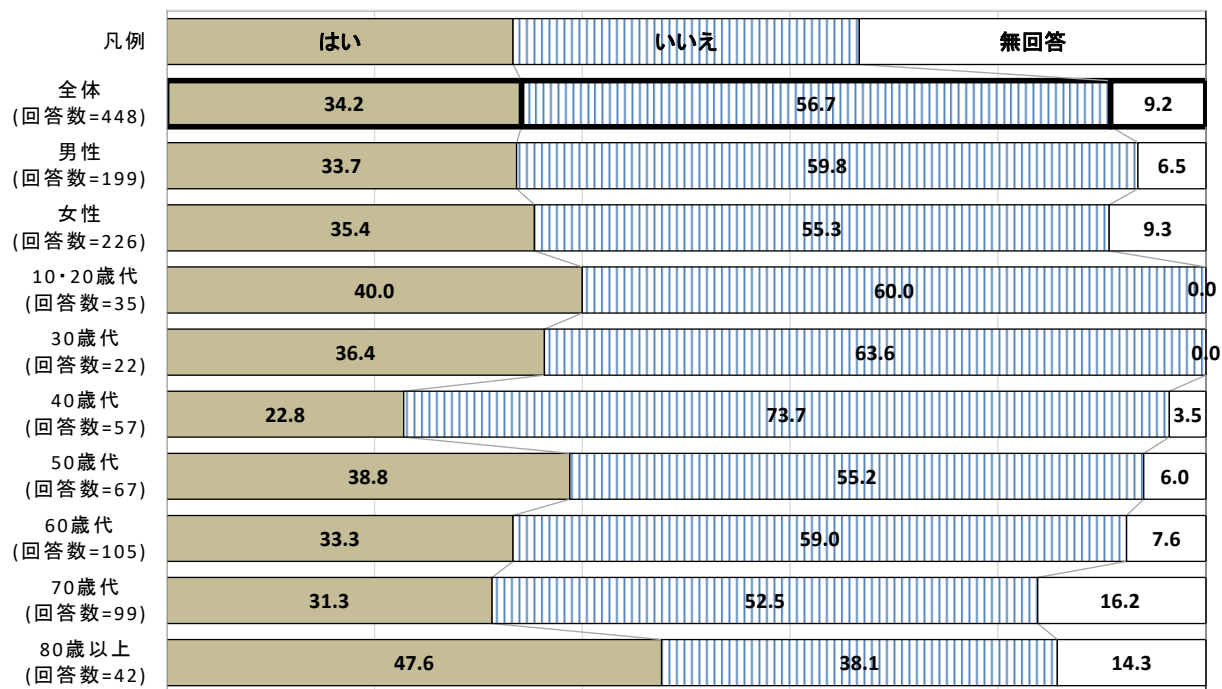
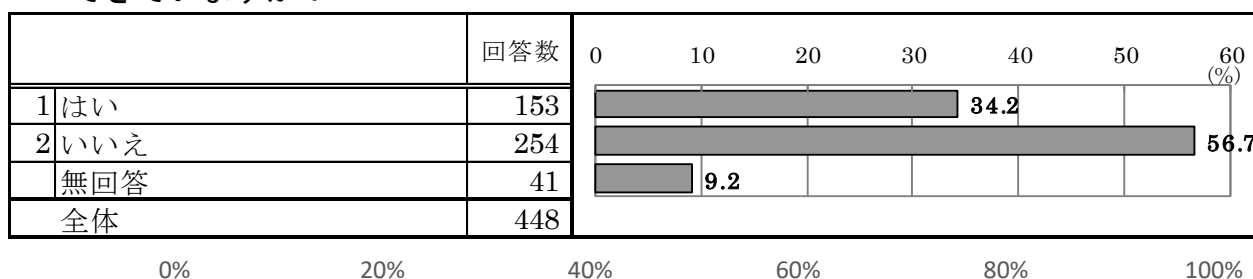


西成区が安心安全なまちに変わってきたことについては、「どちらかといえばそう思う」が29.7%、「そうは思わない」が27.7%、「どちらかといえばそうは思わない」が16.1%となっている。

「そう思う」(6.9%)と「どちらかといえばそう思う」(29.7%)を合わせた“西成区が安心安全な町に変わってきたと思っている”人は36.6%となっている。

男女別にみると、“西成区が安心安全なまちに変わってきたと思っている”人は、『男性』が41.7%、『女性』が33.6%となっている。

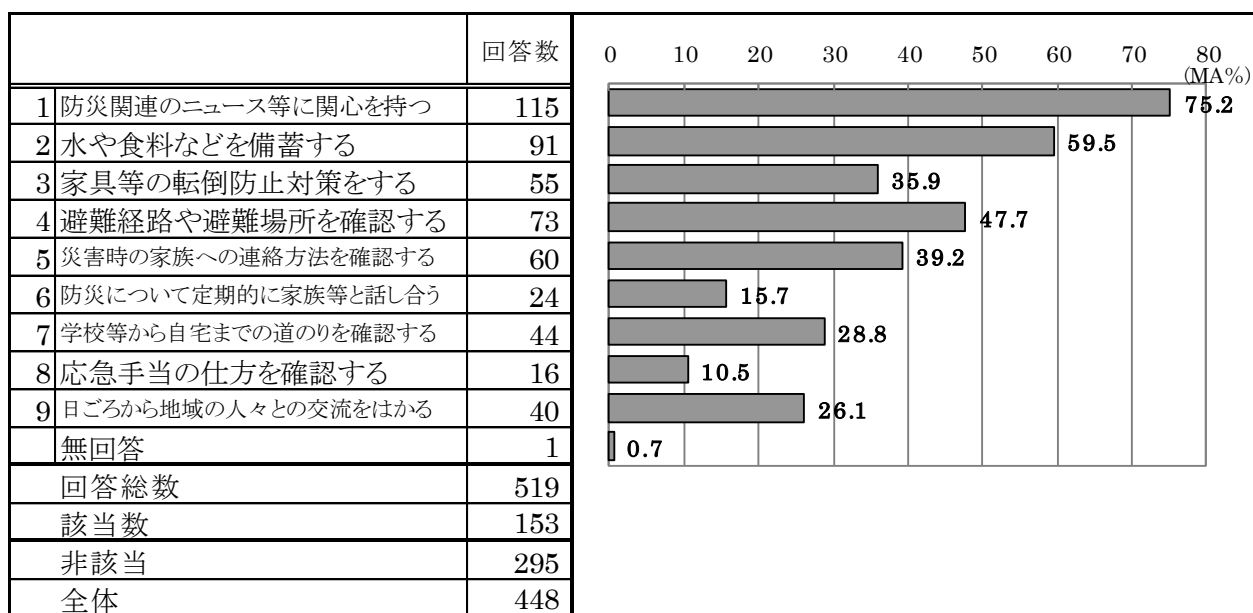
問 26 日ごろからの災害に対する備え あなたは、日ごろから災害に対する備えができていますか？



日ごろからの災害に対する備えができていないについては、「はい」が 34.2%、「いいえ」が 56.7%となっている。

男女別にみると、「(備えができていない) はい」は、『男性』が 33.7%、『女性』が 35.4%となっている。

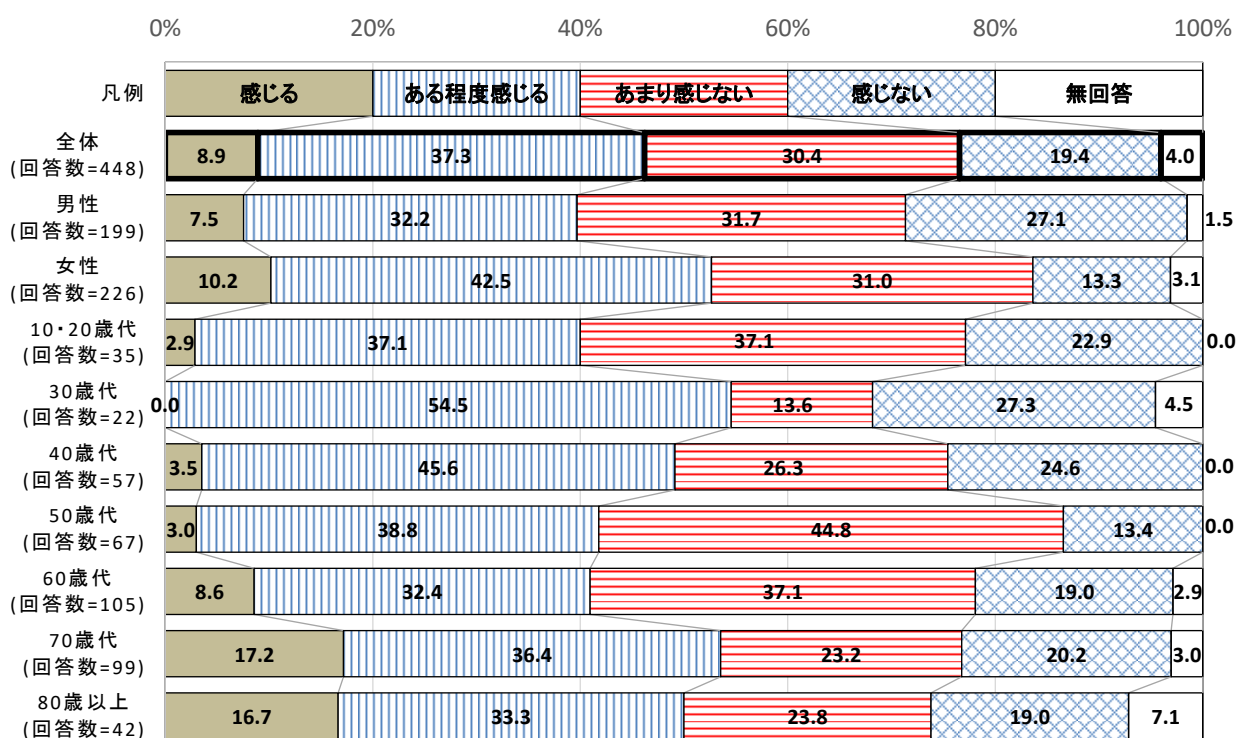
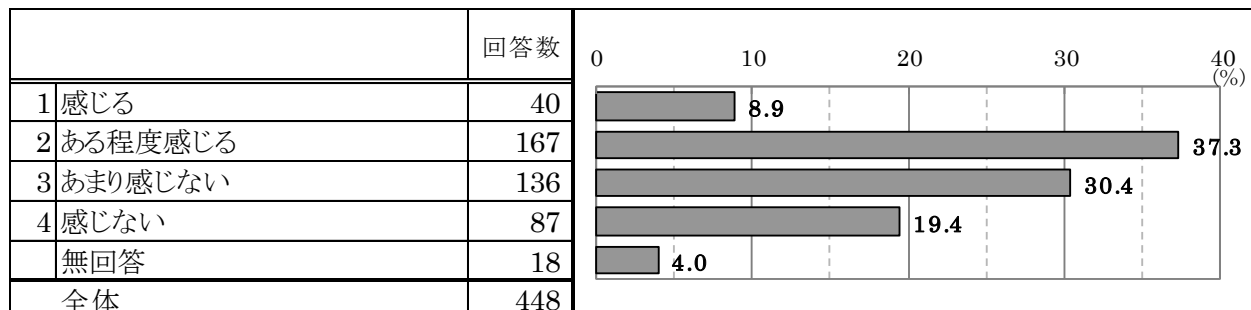
問 26-1 具体的な災害に対する備え (問 26 で「はい」と回答の方のみ) 例え
ばどのような対策を取られていますか? 【複数回答】



具体的な災害に対する備え(複数回答)は、「防災関連のニュース等情報に関心を持つ」が75.2%と最も多く、次いで「水や食料などを備蓄する」が59.5%、「避難経路や避難場所を確認する」が47.7%となっている。

7. 「地域活動」「コミュニティ育成」に関して

問 27 地域コミュニティの実感 あなたは、お住まいの地域では、日頃から、ご近所どうして「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じますか？

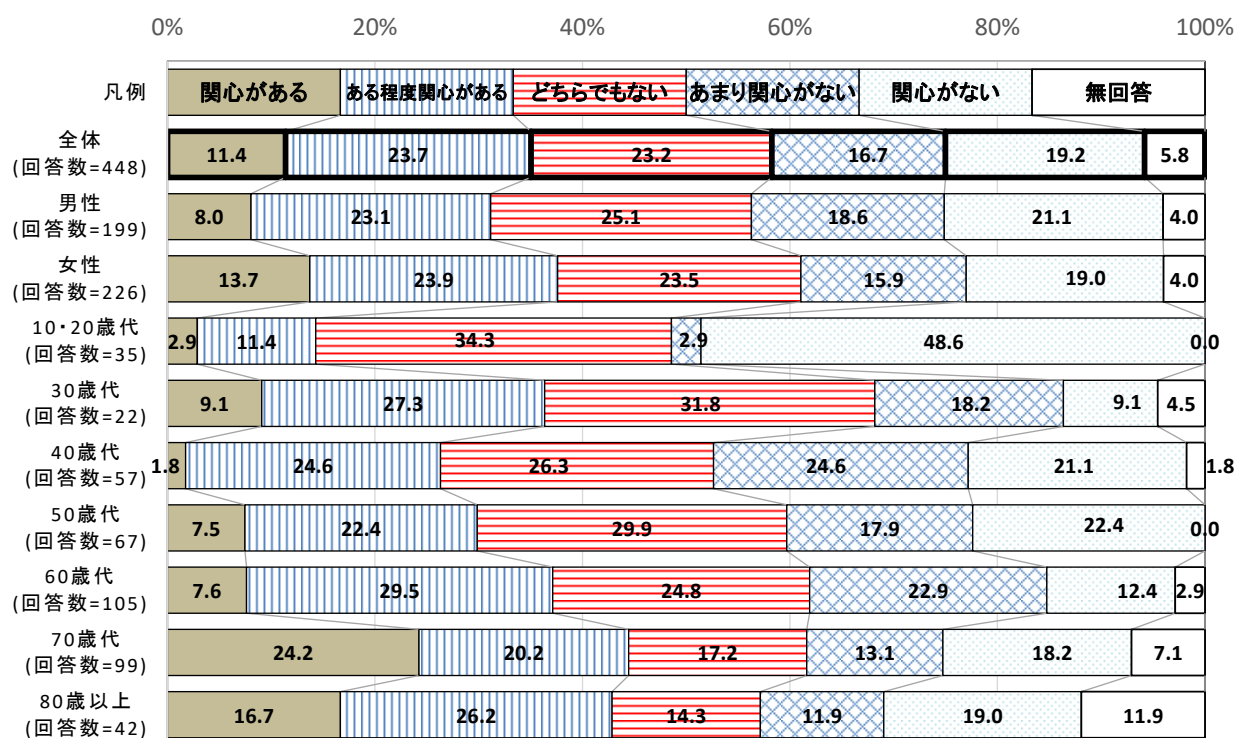
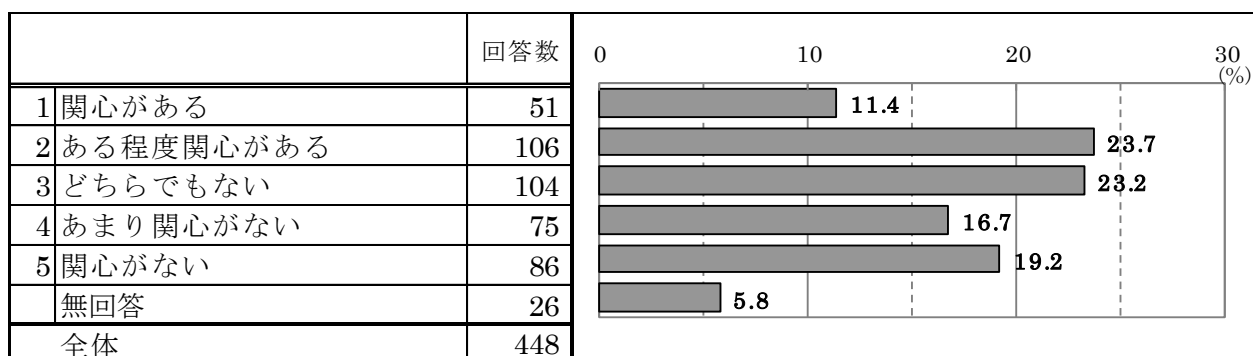


地域でのコミュニティの実践度合は、「ある程度感じる」が 37.3%、「あまり感じない」が 30.4%、「感じない」が 19.4%となっている。

「感じる」(8.9%)と「ある程度感じる」(37.3%)を合わせた“地域コミュニティを感じている”人は、46.2%となっている。

男女別にみると、“地域コミュニティを感じている”人は『男性』が 39.7%、『女性』が 52.7%となっている。

問 28 地域活動への関心度 あなたは、お住まいの地域での地域活動（地域で行われる催しもの、事業等）に関心はありますか？

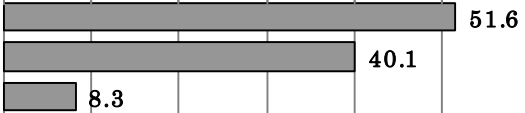


地域での地域活動への関心度は、「ある程度関心がある」が23.7%、「どちらでもない」が23.2%、「関心がない」が19.2%となっている。

「関心がある」(11.4%)と「ある程度関心がある」(23.7%)を合わせた“地域活動に関心のある”人は、35.1%となっている。

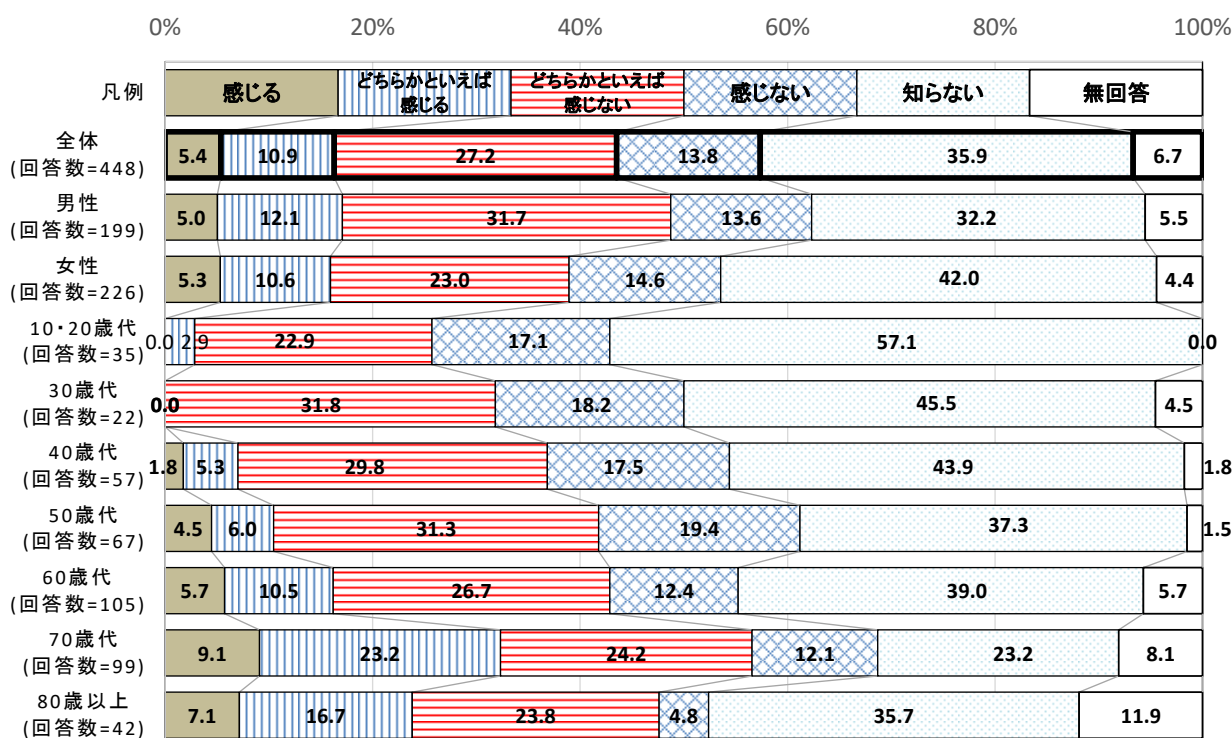
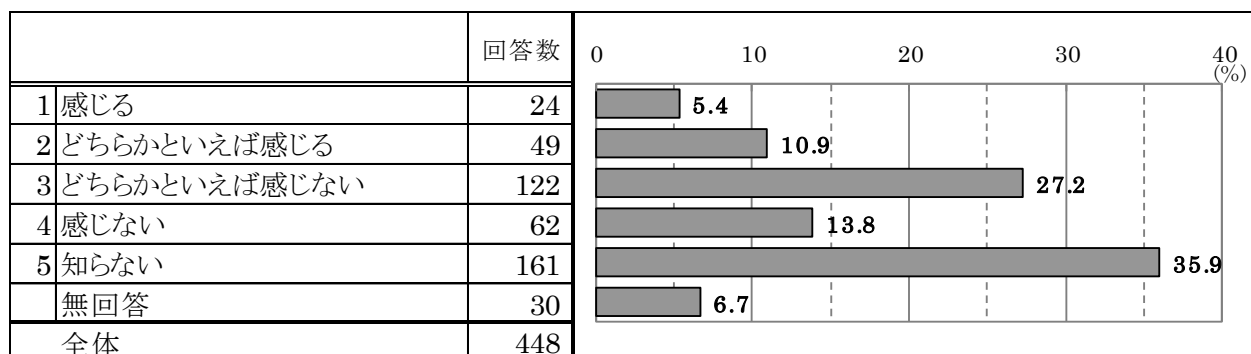
男女別にみると、“地域活動に関心のある”人は『男性』が31.1%、『女性』が37.6%となっている。

問 28-1 地域活動のきっかけ（問 28 で「関心がある」「ある程度関心がある」と回答の方のみ） あなたが地域活動に関わってみたいと思った時に、どうすればよいかわかりますか？

		回答数	0	10	20	30	40	50	60	
1	相談相手や相談窓口などを知っている	81								51.6
2	どうすればよいかわからない	63								40.1
	無回答	13	8.3							
	回答総数	157								
	該当数	157								
	非該当	291								
	全体	448								

“地域活動に関心のある”人で、地域活動に関わってみたいと思った時にどうすればよいかについては、「相談相手や相談窓口などを知っている」は 51.6%であり、「どうすればよいかわからない」が 40.1%となっている。

問 29 地域のまちづくり活動の連携・協働の推進の意識 あなたは、校区等地域を越えた範囲で、地域団体や市民、NPO、企業などいろんな方々が連携し、協働することによって、まちづくりに関する活動が進められていると感じますか？



地域の活動がさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じることについては、「知らない」が35.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば感じない」が27.2%、「感じない」が13.8%となっている。

「感じる」(5.4%)と「どちらかといえば感じる」(10.9%)とを合わせた“地域の活動がさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じる”人は16.3%となっている。

男女別にみると、“地域の活動がさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じる”人は、『男性』が17.1%、『女性』が15.9%となっている。

問 29-1 連携・協働を感じること (問 29 で「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答の方のみ) どのような点に、そう感じましたか？【複数回答】

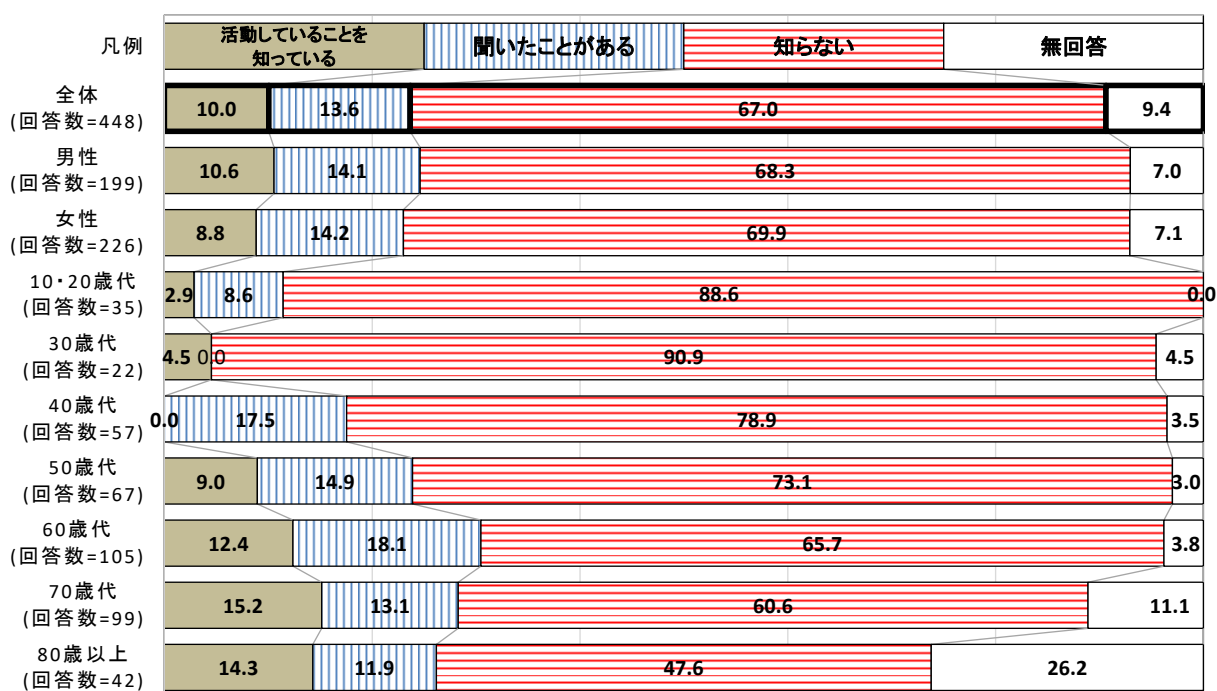
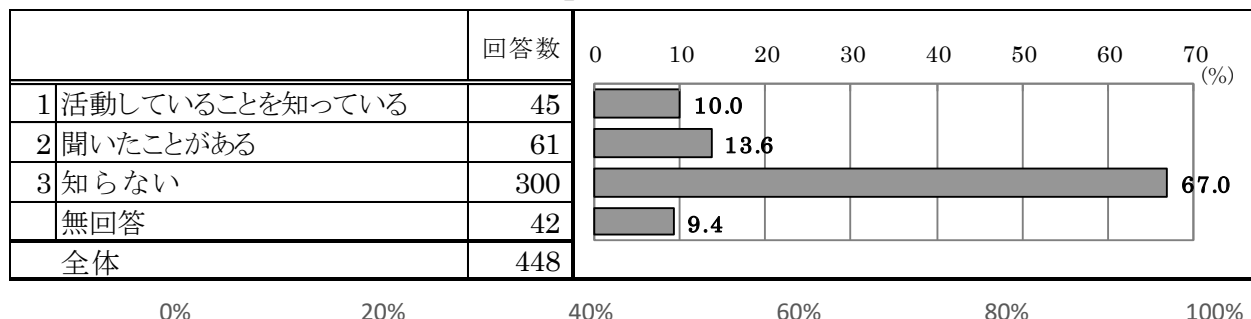
	回答数	0	10	20	30	40	50	60	
1 校区等地域を越えた様々な立場の人々が参画するようになった	42								
2 校区等地域を越えた困難な地域課題に対しても対応が進められた	16								
3 その他	6								
無回答	14								
回答総数	78								
該当数	73								
非該当	375								
全体	448								

※「その他」の内容：都構想を真剣に考えた事で大阪全体が変わった、清掃、夜回り

“地域の活動がさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じる”人が地域のまちづくりに関する活動がさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると思う時は、「校区等地域を越えた様々な立場の人々が参画するようになった」が 57.5%と多く、「校区等地域を越えた困難な地域課題に対しても対応が進められた」が 21.9%となっている。

問 30 地域活動協議会の認知度 西成区には校区等地域（おおむね小学校区）を範囲として、地域団体やNPO、企業など地域のまちづくりに関するいろんな団体が集まり、話し合い、協力しながら、地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みである「地域活動協議会」が16地域あります。

あなたは、この「地域活動協議会」のことを知っていますか？



地域活動協議会の認知度は、「知らない」が67.0%と最も多く、「聞いたことがある」が13.6%、「活動していることは知っている」が10.0%となっている。

「活動していることを知っている」(10.0%)と「聞いたことがある」(13.6%)を合わせた“地域活動協議会を知っている”人は23.6%となっている。

男女別にみると、“地域活動協議会を知っている”人は、『男性』が24.7%、『女性』が23.0%となっている。

問 30-1 地域活動協議会の認知度 (問 30 で「活動していることを知っている」と回答の方のみ) あなたは、お住まいの地域の地域活動協議会では、地域課題の解決やまちづくりに自律的に取り組んでいると感じますか？

	回答数	0	10	20	30	40 (%)	
1 感じる	13						28.9
2 どちらかといえば感じる	18						40.0
3 どちらかといえば感じない	9						20.0
4 感じない	3						6.7
無回答	2						4.4
回答総数	45						
該当数	45						
非該当	403						
全体	448						

地域活動協議会が地域一体となって運営されていることについては、「どちらかといえば感じる」が 40.0%、「感じる」が 28.9%、「感じない」が 6.7%となっている。

「感じる」(28.9%)と「どちらかといえば感じる」(40.0%)を合わせた“地域活動協議会が地域一体となって運営されていることを感じる”人は、68.9%となっている。

問 30-2 地域活動協議会の認知度（問 30 で「活動していることを知っている」と回答の方のみ）地域活動協議会は、さまざまな活動主体が参画し、会計をオープンにするなど、地域が一体となって運営されていると感じますか？

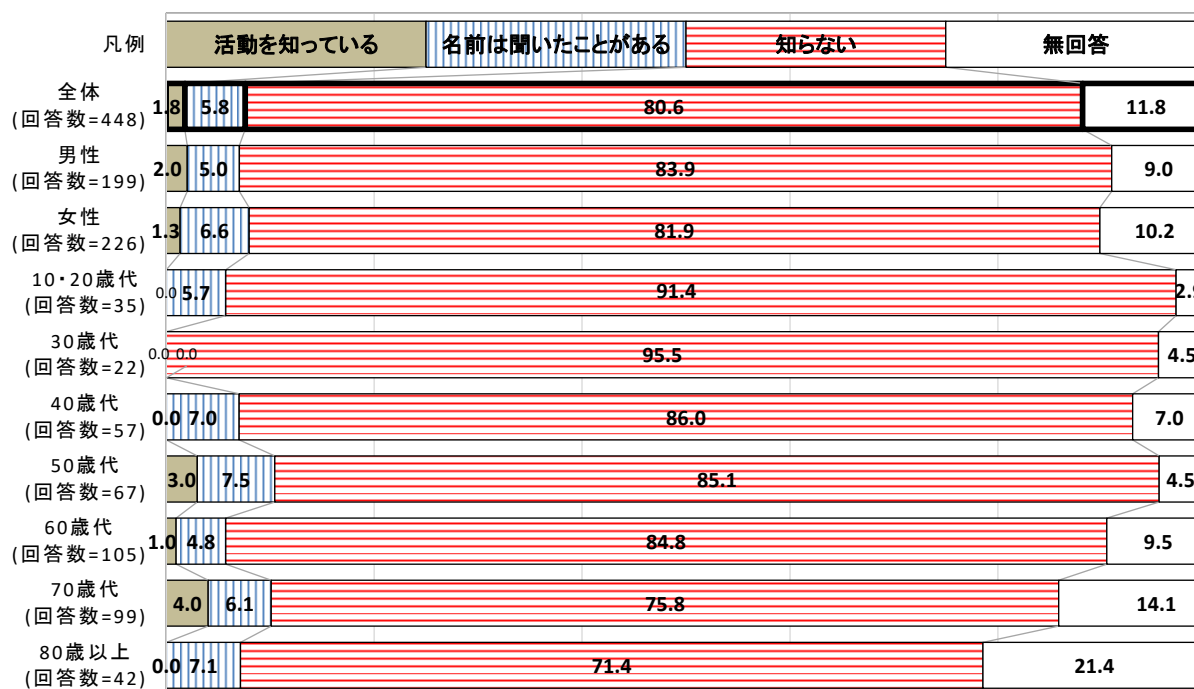
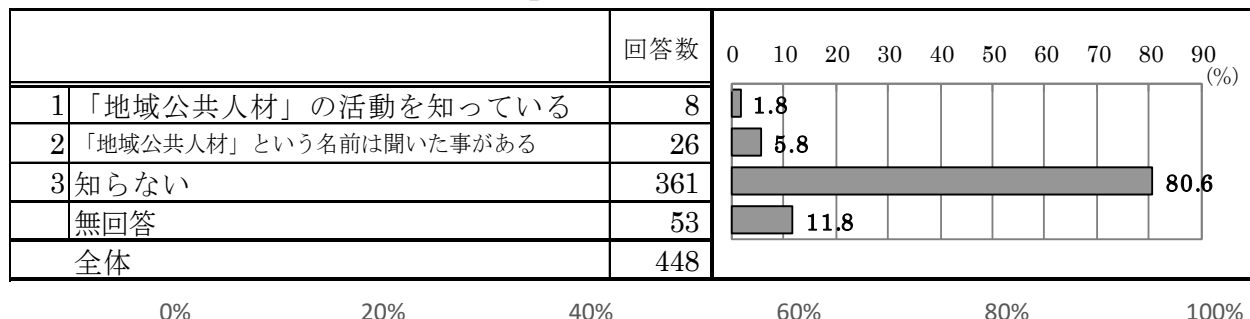
	回答数	0	10	20	30 (%)	
1 感じる	8					17.8
2 どちらかといえば感じる	13					28.9
3 どちらともいえない	13					28.9
4 どちらかといえば感じない	3					6.7
5 感じない	3					6.7
6 わからない	3					6.7
無回答	2					4.4
回答総数	45					
該当数	45					
非該当	403					
全体	448					

地域活動協議会が地域一体となって運営されていることについては、「どちらかといえば感じる」と「どちらともいえない」が 28.9%、「感じる」が 17.8%、「どちらかといえば感じない」「感じない」「わからない」が 6.7%となっている。

「感じる」（17.8%）と「どちらかといえば感じる」（28.9%）を合わせた“地域活動協議会が地域一体となって運営されていると感じる”人は、46.7%となっている。

問31 地域公共人材の認知度 大阪市では、地域のまちづくりを活性化させるため、中立的な立場で地域の話し合いを進め、人材・情報など地域の資源を「コーディネート」・「ファシリテート」し、地域特性に応じた活動のマネジメントを行う「地域公共人材」の育成及び地域への派遣に取り組んでいます。

あなたは、この「地域公共人材」という仕組みを知っていますか？



地域公共人材の仕組みを知っているのは、「知らない」が80.5%、「名前は聞いたことがある」が5.8%、「活動を知っている」が1.8%となっている。

「知っている」(1.8%)と「名前は聞いたことがある」(5.8%)を合わせた“地域公共人材が地域で活動していることを知っている”人は7.6%となっている。

男女別にみると、“地域公共人材が地域で活動していることを知っている”人は、『男性』が7.0%、『女性』が7.9%となっている。

問 31-1 地域公共人材の活躍状況（問 31 で「地域公共人材の活動を知っている」と回答の方のみ）あなたのお住まいの地域の活動において、この「地域公共人材」が活躍していると感じますか？

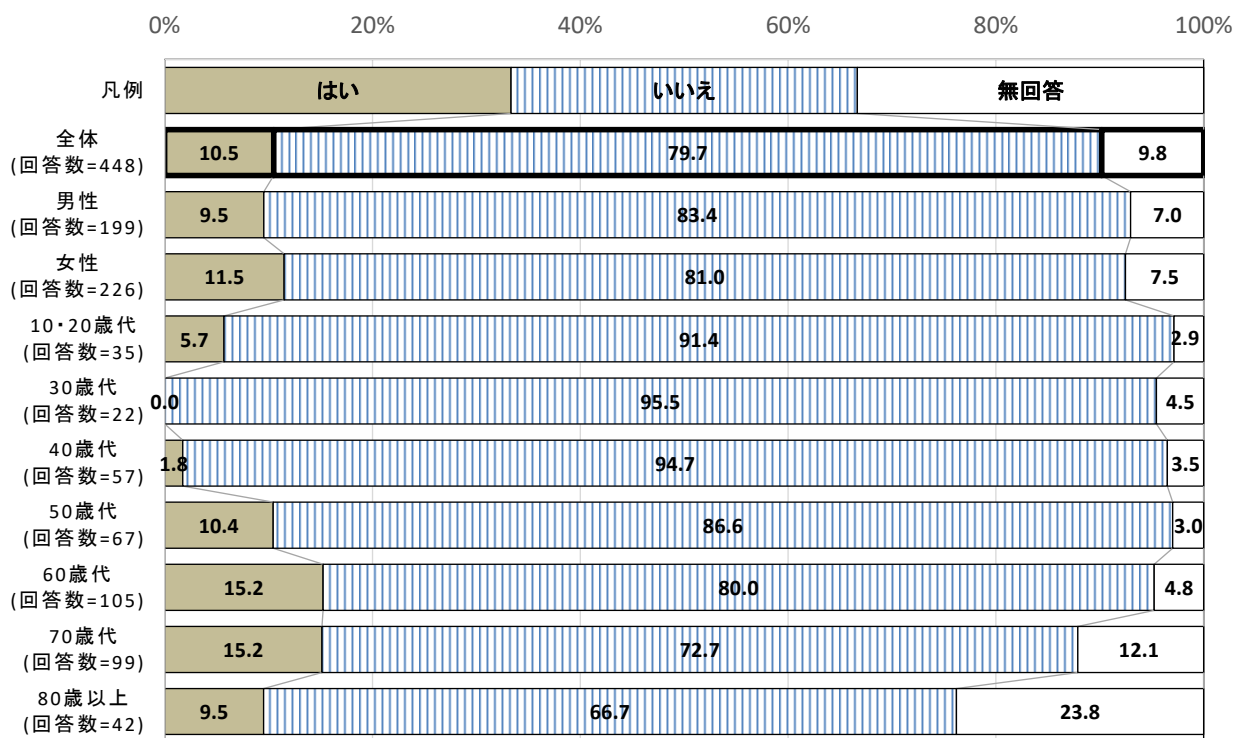
	回答数	0	10	20	30	40 (%)	
1 感じる	3						37.5
2 どちらかといえば感じる	2						25.0
3 どちらかといえば感じない	1						12.5
4 感じない	2						25.0
回答総数	8						
該当数	8						
非該当	440						
全体	448						

地域公共人材が地域で活動していると感じるのは、「感じる」が 37.5%、「どちらかといえば感じる」が 25.0%、「感じない」が 25.0%となっている。

「感じる」（37.5%）と「どちらかといえば感じる」（25.0%）を合わせた“地域公共人材が地域で活動していると感じる”人は 62.5%となっている。

問 32 地域活動への参加状況 あなたは地域活動に参加していますか？

	回答数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	(%)
1 はい	47	[Bar chart showing 10.5%]									
2 いいえ	357	[Bar chart showing 79.7%]									
無回答	44	[Bar chart showing 9.8%]									
全体	448										



地域活動への参加状況は、「いいえ」が 79.7%、「はい」が 10.5%となっている。

男女別にみると、“地域活動に参加している”人は、『男性』が 9.5%、『女性』が 11.5%となっている。